

令和8年度さっぽろまちキャンパス共創事業支援業務
評価シート

評価の視点	配点
(1) 業務の実施方針について	
<p>・業務の目的・内容を十分に理解しているか。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2</p>	10
(2) 「さっぽろまちキャンパス共創事業」支援業務について	
<p>ア キックオフミーティング、交流会、成果報告会の開催に関する事 各会議の目的を達成するための実施方針及び内容を具体的に示すこと。提案にあたっては、下記の2点を必ず含むものとする。</p> <p>①各会議において、学生団体間の相互交流を促す工夫があること。 ②各会議間が連続性を持ち、会議を追うごとに学生の学びが深まる工夫があること。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=15、「優れている」(8割)=12、「普通」(6割)=9、「やや不十分」(4割)=6、「不十分」(2割)=3</p>	15
<p>イ 広報に関する事 提案にあたっては、下記の2点を必ず含むものとする。</p> <p>①学生の発信内容を集約し、札幌市の公式アカウントに展開する方法など、仕様に示す広報を実施するための具体的なフローを提案すること。 ②まちキャンで実施するイベントや成果等を周知するため、効果的と考えられる広報施策（開催案内や自社SNS等での情報発信など）を提案すること。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4</p>	20
<p>ウ 学生団体の活動支援等に関する事 ①学生団体と委託者との間を仲介し、まちキャンを円滑に推進するために必要な各種の連絡・調整を総合的に行うことについて、具体的なフローを提案すること。 ②学生団体がまちづくり活動を進める過程で生じた相談事項等に対応・伴走支援することについて、具体的なフローを提案すること。提案には、学生団体が相談しやすい環境の工夫を含むこと。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=25、「優れている」(8割)=20、「普通」(6割)=15、「やや不十分」(4割)=10、「不十分」(2割)=5</p>	25
(3) 独自提案について	
<p>・業務の目的を達成するにあたり、独自性があり、効果的な提案となっているか。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=15、「優れている」(8割)=12、「普通」(6割)=9、「やや不十分」(4割)=6、「不十分」(2割)=3</p>	15
(4) 業務体制、業務スケジュール、業務実績について	
<p>本業務を着実に執行するために必要となる業務体制、及び業務スケジュールを示すこと。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1</p>	5
<p>本業務に類似・関係等のある過去の業務実績があれば示すこと。</p> <p>目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2</p>	10
合 計	100

※点数は「特に優れている」(10割)、「優れている」(8割)、「普通」(6割)、「やや不十分」(4割)、「不十分」(2割)を目安として、付与するものとする。

※最低基準点は、満点の6割。